

# 体験！模擬授業

## 栄養学科

飲み込みの仕組みについて知ろう！—食べ物が入りやすく飲み込めないと危険なの？—

教授 武部 久美子

私たちが毎日食事を口に取り込んで、咀嚼してゴックンと飲み込んで胃に送り込むまでのしくみを理解することは重要です。脳血管障害などで、麻痺や口腔機能の障害がみられると咀嚼してゴックンと飲み込んで胃に送り込むまでのプロセスにトラブルが発生します。うまく噛めない、うまく飲み込めないなど、咀嚼・嚥下機能が低下している方は、筋力の低下、かむ力や飲み込む力の低下により、飲み込み難くなったり、食事時間が長くなってしまったり、むせやすくなったりします。私たちが飲み込む仕組みについて一緒に学んでみましょう。

## 看護学科

高齢者とレクリエーション

助教 上原 主義

超高齢社会である日本。健康な方も多くいますが、何かしらの病気を抱えながら日々生活を送られている高齢者の方も世の中にはたくさんいます。そのような高齢者の方々とレクリエーションを行う目的、またレクリエーションを行うときには、どのような工夫や注意点があるのか等、講義と演習を通して一緒に考え楽しく学んでいきましょう

## 社会福祉学科

「権利擁護」を担うソーシャルワーカーとは

教授 佐藤 みゆき

本学で養成されるソーシャルワーカー(社会福祉士)の業務として、高齢者や児童への虐待対応、成年後見制度の利用による判断能力の不十分な人へのサポートがあります。この「権利擁護」活動は、様々な福祉課題を抱える現代の日本の社会において、ソーシャルワーカーに最も期待される役割と言ってもよいでしょう。この授業では、本学での講義や演習の一部を体験することで、ソーシャルワーカー像について理解を深めていただきたいと思います。

## 社会保育学科

「質の高い保育」とは何か

講師 中西 さやか

「質の高い保育」と聞いて、みなさんは何をイメージしますか。近年、「質の高い保育」がもたらす効果に注目が集まり、世界中の国々で保育の質を高めることが目指されています。しかし、「質の高い保育」とは何かを改めて問われると、具体的に説明することは難しいのではないのでしょうか。

この授業では、保育の質をめぐる国際的な議論や取り組みを取り上げながら、「質の高い保育」とは何かについて探ってみたいと思います。